



ネット上のいじめ

スマートフォン・携帯電話・パソコン等を利用して、特定の子どもの悪口や誹謗・中傷等をインターネット上の掲示板等へ書き込んだり、悪質な画像を投稿したりするなどの方法によりいじめを行うもの。

特徴

- 言葉による行き違いからトラブルになり、仲間外れにされる。
- 絶え間なく、悪口が書き込まれるため、被害が短期間で深刻になる。
- 個人情報が無断で流出されたり、加工されたりして、個人攻撃に発展することがある。
- 見えにくいいじめが発生し、大人がいじめの実態を把握するまでに時間がかかる。



子どもにスマートフォンや携帯電話を与えるときの注意点

- ・ 家族で話し合っ、家庭で使い方のルールを決めましょう。
- ・ フィルタリングや制限機能を設定しましょう。



学校では…



POINT

子どもの人間関係や、一人ひとりの気持ちがわかるように
子どもの思いを受け止め、一人ひとりをしっかり見ていきます。

懇談やアンケートなどを実施して、
学級の様子や一人ひとりの子どもの
気持ちを確認します。

check



《学校生活アンケート》

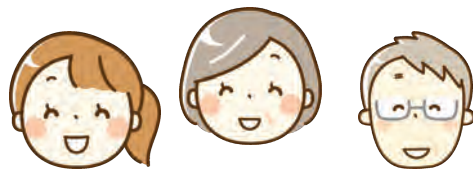
- 学校では楽しく過ごしていますか？
- 困ったことがあったとき、相談できる友だちがいますか？
-
-
-
- 学級のことや友だちのことで相談したいことがあれば、
書いてください。

気になることを早く見つけて、子どもの気持ちを受け止め、
相談しながら一緒に解決していきます。



- ・いじめが起きないように、子どもの普段の生活をしっかり見守ります。
- ・一人ひとりの違いを認め合える仲間づくりを大切にします。
- ・いじめられている子が孤立しないような働きかけをします。

子どもを見守る大人としては



POINT

自分の子どもは集団の中でどのような様子なのか、子どもをよく知ることが大切です。

例えば



いじめられたと
感じて我慢している
ように見える



いじめられていても、
そう感じていない
ように見える



友だちの
嫌がることを
してしまう



うちの子は
どうかしら…。

POINT

子どもは十人十色で、同じ出来事でも感じ方は様々です。保護者は、自分の子どもの話をよく聞き、様子をよく見て、子どものことを知っておきましょう。

子どもの成長のために…

子どもが解決していく問題にいつも保護者が出ようとしてはいけません。



子どもを信頼し相談しながら、子どもののぞむこと、保護者のできることを考えていきましょう。

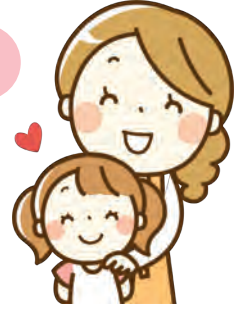
子どもの様子に合わせた対応

子どもの力を信じて、可能性を伸ばせるようにかかわることは大切です。



いじめられたと感じて我慢しているように見えるときには

- 「つらいことや苦しいこと、どんなことでもあなたの気持ちを話してくれたらうれしいな。」というような温かい言葉をかけましょう。



いじめられていても、そう感じていないように見えるときには

- 「それでいいの？」と時々声をかけて、聞きましょう。
- 立ち止まって**気づく機会**をつくりましょう。



友だちの嫌がることをしてしまうときには

- 周りに協力を求め、集団の中で**みんなと楽しく遊ぶこと**をたくさん経験できるようにしましょう。
- 「やめて」と言われるより、「**ありがとう**」と言われるほうが心地よいという**体験**をさせてあげましょう。
- **嫌がることをする背景（理由・目的）**を考えましょう。
- 自分が受け入れられている**実感**をもてるような**かかわり**をしていきましょう。



子どものよい行動に注目していますか？



愛されていると実感している子は、いじめをしません。

いじめを起こさない子どもたちの 関係づくりをめざしましょう

いじめの防止に大きな力を発揮するのは、周りの子どもたちです。

周りの子どもたちが「いじめに加わらない」「いじめを許さない」仲間たちであれば、いじめが起きることは少ないのです。

しかし、いじめはいけないとわかっているけれど、いじめられている子の側に立てず、苦しんでいる子どもたちもいます。



いじめを見逃して平気である
子どもはほとんどいません。



子ども一人でいじめに立ち向かうのは難しい場合が多いです。
いじめの解決には、子どもと大人と一緒に取り組むことが大切です。

